



# 傍聴席

## 6月議会を傍聴して

ネットワーク松前 藤岡 緑

この度、6月議会の全日程を私たち男女共同参画社会の実現に向けて活動するグループ（ネットワーク松前）のメンバーで、各人時間の許す限り傍聴させて頂きました。私個人としては、17日の開幕議会を除いて30日の本会議閉幕まで、一般質問、各常任委員会、委員会報告等、一連の質疑応答、議論、採決の様子などをじっくりと拝見することが出来ました。

以前、合併関連で全員協議会というのを、傍聴したことがあります。今回のように出された請願の審議や条例改正、また補正予算のチェックなどを見せて頂くことは、初めての経験でした。やはり全体を通して、理事者側の報告確認という印象が強いのですが、一般質問のところでは、議員さんたちが再質問を繰り返すなど、論点を明確にした行政側に消極的態度をたたく場面があったりして少し頼もしい気も致しました。これからも更に住民の思いをより具体的に行政側に訴え続けてほしいと思います。

最後に議場を傍聴席から眺めて感じたことを一言。理事者席は全員男性、議員席も一人女性で残り全員男性。傍聴席は、男女ほぼ半々。つまり政策決定の場には、まだまだ女性傍観者の存在です。主体的立場に女性が参画するためには自身のエンパワーメントもさることながら、周りの意識改革や組織への働きかけなど課題がたくさん見えてきました。



# 町民の声

## 塩屋海岸に想いを寄せて

三好 安明

1984年3名から始められた海岸清掃は9年前、清掃ボランティア「すなはま」の名で（会員32名）活動していましたが海岸を訪れるマナーの悪さ、海よりの打ち上げゴミなど収集しても後から次々流れつき、会員の高齢化も重なって21年間続いた活動も今年3月31日で解散いたしました。「すなはま」は海岸のゴミの収集だけでなく、下水浄化の石けんづくり、ボカシづくり、ハマユウの栽培などでもしていました。ハマユウは塩屋海岸に注ぐ国近川右岸にハマユウ園をつくり遊歩道も3本つけ、

6月末に461株を栽培しています。ヒガンバナ科のハマユウは年中花をつけ顔をよせると芳香があり気持ちを癒してくれます。このハマユウだけでも育てようと、今年4月ハマユウを育てる会を立ちあげ毎月第2土曜日をボランティアの活動日としています。園外のゴミ収集、園内の除草、薬剤散布、下草敷き、敷肥、冬季には北西の風により砂で埋まるのを防ぐ為、まわりに防砂柵をとりつけています。会員は27名で町内だけでなく、伊予市、松山市からも会員になつてもらっています。

夕日の美しい海のPRに力を注いでいる隣の市と比べても勝るとも劣らない塩屋海岸の夕日の美しさは格別だと、知人に塩屋の浜を誉め何度も訪れている方がいます。白砂青松とまではいかなくても、重信川と国近川の間約1キロの海岸は松前町の誇りです。町民行政一体となって塩屋の浜を美しくして行こうではありませんか。そして500株をすぎたハマユウ園のハマユウを温かく見守っていただくことがハマユウを育てる会の会員の切なる願いです。



ハマユウ園